

2020年6月5日

各位

小野薬品工業株式会社

**蛋白分解酵素阻害剤「フオイパン®錠」  
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する臨床試験を開始**

小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：相良 暁、以下、当社）は、本日、蛋白分解酵素阻害剤「フオイパン®（一般名：カモスタットメシル酸塩）錠」を用いた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する臨床試験を開始しましたのでお知らせします。

「フオイパン®錠」は、慢性膵炎および術後逆流性食道炎の治療薬として製造販売承認を取得している薬剤です。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の原因ウイルス SARS-CoV-2 は、人の気道などの細胞にある ACE2 受容体に結合した後、ウイルス膜と細胞膜を融合させて侵入、感染します。膜融合を起こすには、細胞側の蛋白分解酵素 TMPRSS2 にウイルス表面のスパイクタンパク質を切断させる必要があります。フオイパン®錠はこの酵素の働きを抑えるメカニズムを有しています。このようなメカニズムの特徴から新型コロナウイルスに対しても効果が期待されています。

今回の臨床試験においては、カモスタットメシル酸塩の有効性を示唆する基礎の論文報告とヒト血中濃度の関係性を踏まえ、より高い有効性を得るために、承認用量を超えた用量で行うこととし、健康成人における安全性を確認した上で、新型コロナウイルス感染症の患者を対象とした臨床試験を行います。

当社は、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、革新的な医薬品の創製を通じて社会に貢献すべく取り組んでいます。COVID-19 は世界的な脅威となっており、治療薬、ワクチンの開発が急務となっています。当社は、すでに国内外の医療機関・研究機関からの要請に基づき臨床研究用製剤の供給を行っておりますが、治療薬となる可能性のある医薬品を有する企業として開発に取り組んでまいります。

フオイパン®錠について

フオイパン®錠は、当社が創製した経口蛋白分解酵素阻害剤で、1985年に「慢性膵炎における急性症状の緩解」の効能・効果で製造販売承認を取得、1994年には「術後逆流性食道炎」の効能・効果も承認取得しています。なお、本剤の物質特許は1996年1月に満了しています。

以上

<本件に関する問い合わせ先>  
小野薬品工業株式会社 広報部  
TEL：06-6263-5670  
FAX：06-6263-2950